

食料・農業・農村政策審議会 農業農村振興整備部会  
(令和7年度第5回) 概要

○開催日

令和8年3月27日(金) 書面提出による持ち回り審議

○参加委員(五十音順)

稲垣委員、西村委員、福田委員、山寄委員

加藤臨時委員、北室臨時委員、木下臨時委員、久保田臨時委員、河野臨時委員、  
清水臨時委員、長谷川臨時委員、藤原臨時委員、牧臨時委員、松下臨時委員、  
松田臨時委員、松本臨時委員

○議題

【議題1】 部会長の互選について

【議題2】 技術小委員会からの報告事項について

ア) 土地改良事業設計指針「ほ場整備」の制定について

【議題3】 国際かんがい排水委員会(ICID)第76回国際執行理事会及び第4回世界かんがいフォーラムの結果報告について

○概要

委員の互選により、西村委員が部会長に選任された。

また、部会長代理には藤原臨時委員が部会長により指名された。

土地改良事業設計指針「ほ場整備」について、原案のとおり了承された。

なお、各議題の委員からの御意見は以下のとおり(五十音順)。

【議題2】 技術小委員会からの報告事項について

ア) 土地改良事業設計指針「ほ場整備」の制定について

- ・(北室臨時委員) 農地と担い手の確保に不可欠な大区画化やスマート農業推進に関する技術的課題が多角的に検討されており、また気候変動を見据えて農業・農村の多面的機能をより発揮できる田んぼダム導入に向けた対応も意義が大きいと考えます。
- ・(久保田臨時委員) 熊本県土地改良事業団体連合会においては、中山間地域のほ場整備において、3D技術を導入し、土量計算を実施してきた実績がある。本文の修正を求めるものではないが、こうした取組を参考としていただき、今後の中山間地域におけるほ場整備の手法等の検討に生かしていただきたい。

【議題3】 国際かんがい排水委員会(ICID)第76回国際執行理事会及び第4回世界かんがいフォーラムの結果報告について

- ・(北室臨時委員) 世界最多の「世界かんがい施設遺産」を有する日本として、かんがい施設遺産の歴史的意義がよりいっそう国民に広まり理解されることを期待します。
- ・(清水臨時委員) ICID 日本国内委員会委員のみなさまが毎年精力的に活動していただき、国際社会での日本の農業農村整備部門の存在が高く評価されていることに感謝申し上げます。

以 上